

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月13日

【四半期会計期間】 第52期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社オーイズミ

【英訳名】 OIZUMI Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 泉 秀 治

【本店の所在の場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297-2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【最寄りの連絡場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297-2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第1四半期 連結累計期間	第52期 第1四半期 連結累計期間	第51期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	2,095,315	2,510,844	9,723,502
経常利益又は 経常損失() (千円)	59,495	210,245	271,556
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失() (千円)	118,018	125,687	598,280
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	128,014	116,107	575,268
純資産額 (千円)	14,114,532	14,731,464	14,817,815
総資産額 (千円)	31,058,082	31,937,456	32,096,325
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (円)	5.25	5.59	26.60
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	45.4	46.1	46.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2019年3月31日)に比べ158百万円減少し、31,937百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ519百万円減少し、13,351百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少(390百万円減)、受取手形及び売掛金の減少(291百万円減)の一方で、仕掛品の増加(165百万円増)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ360百万円増加し、18,585百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加(384百万円増)、土地の増加(153百万円増)の一方で、機械装置及び運搬具の減少(106百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、17,205百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少(380百万円減)の一方で、長期借入金の増加(229百万円増)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、14,731百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少(76百万円減)によるものです。

この結果、自己資本比率は46.1%と前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少いたしました。

(2) 経営成績

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,510百万円(前年同期比19.8%増)、経常利益210百万円(前年同期は59百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益125百万円(前年同期は118百万円の損失)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第1四半期は売上高1,743百万円(前年同期比22.9%増)、セグメント利益148百万円(前年同期は44百万円の損失)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第1四半期は売上高176百万円(前年同期比6.5%増)、セグメント利益92百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(電気事業)

電気事業は、当第1四半期は売上高323百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益166百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第1四半期は売上高210百万円(前年同期比42.8%増)、セグメント利益1百万円(前年同期は16百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業は、当第1四半期は売上高55百万円(前年同期比5.1%増)、セグメント利益10百万円(前年同期は11百万円の損失)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は119百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、妙高酒造株式会社において季節労働者9名が減少しております。

提出会社の状況

当第1四半期累計期間において、従業員の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、機器事業における自動サービス機器につきましては、販売実績は大幅な増加、生産実績につきましては小幅な減少、また、遊技機（パチスロ機）等につきましては、販売実績及び生産実績は小幅に増加しております。

なお、当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っておりますが、当第1四半期連結累計期間において、受注実績、販売実績ともに増加しております。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	22,500,000	22,500,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,470,600	224,706	
単元未満株式	普通株式 24,900		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,706	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株(議決権15個)含まれております。また、「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式が71株含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式 数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市 中町2-7-10	4,500		4,500	0.0
計		4,500		4,500	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第51期連結会計年度 有限責任 あずさ監査法人

第52期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 監査法人コスモス

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,876,132	7,485,370
受取手形及び売掛金	1,441,645	1,150,164
電子記録債権	1,137,249	1,089,966
商品及び製品	736,839	665,427
仕掛品	521,239	686,842
原材料	981,937	1,062,802
コンテンツ	0	1,812
その他	1,178,609	1,215,027
貸倒引当金	2,870	5,650
流動資産合計	13,870,782	13,351,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,376,291	4,760,620
機械装置及び運搬具(純額)	3,717,229	3,610,460
土地	8,491,189	8,644,629
その他(純額)	117,535	115,118
建設仮勘定	61,500	22,167
有形固定資産合計	16,763,746	17,152,996
無形固定資産		
ソフトウェア	127,842	112,535
その他	21,012	20,433
無形固定資産合計	148,855	132,968
投資その他の資産		
投資有価証券	320,736	306,936
長期貸付金	1,295,000	1,339,000
繰延税金資産	115,693	109,701
長期前払費用	370,235	365,043
その他	317,634	315,403
貸倒引当金	1,106,357	1,136,357
投資その他の資産合計	1,312,941	1,299,727
固定資産合計	18,225,542	18,585,692
資産合計	32,096,325	31,937,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,727,817	1,661,631
短期借入金	1,140,000	1,140,000
1年内返済予定の長期借入金	2,362,758	2,406,342
未払法人税等	467,236	86,488
賞与引当金	36,677	82,973
製品保証引当金	9,000	4,000
返品調整引当金	3,734	3,683
販売促進引当金	21,800	21,800
その他	242,789	303,131
流動負債合計	6,011,813	5,710,049
固定負債		
長期借入金	9,658,727	9,888,686
リース債務	16,764	11,352
役員退職慰労引当金	530,587	528,278
退職給付に係る負債	52,467	55,583
長期預り保証金	686,131	689,231
資産除去債務	322,019	322,811
固定負債合計	11,266,696	11,495,942
負債合計	17,278,509	17,205,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,102,959	13,026,187
自己株式	4,271	4,271
株主資本合計	14,779,287	14,702,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,528	28,948
その他の包括利益累計額合計	38,528	28,948
純資産合計	14,817,815	14,731,464
負債純資産合計	32,096,325	31,937,456

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,095,315	2,510,844
売上原価	1,646,110	1,826,850
返品調整引当金繰入額	400	51
売上総利益	448,803	684,045
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	47,622	30,833
販売促進費	7,994	594
役員報酬	54,740	52,474
給料手当及び賞与	59,400	58,120
賞与引当金繰入額	12,317	23,976
退職給付費用	3,930	3,552
役員退職慰労引当金繰入額	2,193	2,193
製品保証引当金繰入額	7,000	4,000
貸倒引当金繰入額	300	2,780
その他	228,158	244,290
販売費及び一般管理費合計	423,058	422,816
営業利益	25,745	261,229
営業外収益		
受取利息	1,360	1,646
受取配当金	3,920	3,545
その他	6,839	3,758
営業外収益合計	12,120	8,950
営業外費用		
支払利息	19,928	18,691
貸倒引当金繰入額	70,000	30,000
その他	7,432	11,242
営業外費用合計	97,360	59,934
経常利益又は経常損失()	59,495	210,245
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	59,495	210,245
法人税、住民税及び事業税	58,728	74,347
法人税等調整額	205	10,211
法人税等合計	58,522	84,558
四半期純利益又は四半期純損失()	118,018	125,687
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	118,018	125,687

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	118,018	125,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,996	9,579
その他の包括利益合計	9,996	9,579
四半期包括利益	128,014	116,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,014	116,107
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	28,570千円	35,014千円
支払手形	304,312千円	237,499千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	196,459 千円	192,914 千円
のれんの償却額	4,215 千円	千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	202,458	9	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	202,458	9	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	1,418,581	165,557	310,389	147,741	53,044	2,095,315		2,095,315
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		10,585		150	511	11,246	11,246	
計	1,418,581	176,142	310,389	147,891	53,555	2,106,561	11,246	2,095,315
セグメント利益又は損失()	44,934	84,177	139,566	16,961	11,416	150,430	124,685	25,745

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額 124,685千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	1,743,911	176,300	323,965	210,911	55,755	2,510,844		2,510,844
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,800	11,285			58	17,143	17,143	
計	1,749,711	187,585	323,965	210,911	55,814	2,527,988	17,143	2,510,844
セグメント利益	148,894	92,539	166,559	1,201	10,105	419,301	158,071	261,229

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業等を「その他」としております。

2 セグメント利益の調整額 158,071千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	5円25銭	5円59銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(千円)	118,018	125,687
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金 額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (千円)	118,018	125,687
普通株式の期中平均株式数(株)	22,495,429	22,495,429

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

株式会社オーイズミ
取締役会 御中

監査法人 コスモス

代表社員 業務執行社員	公認会計士	新開智之	印
業務執行社員	公認会計士	小室豊和	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2019年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して2018年8月10日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して2019年6月27日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。